

春の運動会

5月に入り、市内各地の小学校で春の運動会が開催され、校庭には児童たちの明るい笑顔が溢れました。



地域の人も参加した「対馬音頭」



青年団による楽しいパフォーマンス



全校児童で紅白応援

豆酩小瀬分校 最後の運動会

今年度末の閉校が決まっている豆酩小学校瀬分校では、6月3日、最後の運動会が開催されました。

在校生は9名という少人数でしたが、地元の青年団や婦人会、保護者など地域の人々も加わり、趣向を凝らした出しものが披露され、会場には笑い声が溢れていました。



晴天に恵まれた5月27日に開催。初めての運動会となった1年生も、高学年に負けないうらい元氣いっぱい走っていました。

比田勝小学校運動会



会場内で子供服の忘れ物がありました。
心当たりのある方は
市農林課
092(0)53(0)1111まで

6月3日、豊玉町の神話の里自然公園で、第2回『新緑のつどいinつしま』が開催され、子どもたちをはじめ約300名の市民が参加しました。

大会では、上対馬町鱈浦の御手洗希氏から寄贈されたヒトツバタゴの記念植樹、シーカヤック体験、対馬の乗馬体験、木工教室、紙芝居、宝探し、竹を使ったバームクーヘンづくりなど様々なプログラムが実施されました。会場では、子どもたちが所狭しと走りまわり、豊かな自然を満喫していました。

『新緑のつどいinつしま』

約300名の市民が森に親しむ



竹を使ったバームクーヘン作り

国境を越えての環境美化活動

釜山外国語大学校・対馬市民ボランティア海岸清掃
延べ452人で、4トントラック32台分のゴミを回収



作業を行う学生たち（上）
集めたゴミは、1立法^メのゴミが入る袋に入れられ、トラックで運ばれます。（下）
かさばる発泡スチロールは、あっという間に袋を一杯にしました。

5月26日（土）、27日（日）の2日間、韓国の釜山外国語大学の生徒100名が来島し、市民ボランティアと共に海岸清掃を行いました。同大との合同清掃は、今年で5回目になります。
作業は2日間とも午前、午後の2時間ずつ行われ、現場の上県町西海岸からは多くの漂着ゴミが回収されました。

ゴミの中で特に多かったのは、漁具と思われる発泡スチロールにロープ、プラスチック製の浮きに漁網といった産業廃棄物。そして、ペットボトルやカップ麺の容器といった家庭からのゴミでした。漁網やロープは巨大で重いうえに、石と石との間に固く挟まっており、一方発泡スチロールは風雨にさらされた影響で

細かく粒状に砕けたものが散乱し、集めるのにむと苦労するなど回収には手を焼いていました。

真夏のような強い日差しに加え、足場の悪い磯場での作業という過酷な状況の中でしたが、参加者たちは汗だくになりながらゴミを集めていました。また、学生の多くは日本語学科の学生のため簡単な日本語を話すことができ、作業の間には市民との会話に花を咲かせていました。

学校のオリエンテーションでこの活動を知り、初めて参加したというゼ・ヒョンジンさん（日本語学科1年、20歳）は、「韓国の牛乳の箱、ライメンのカップ、ノリの包装などのゴミが多かった。漂着ゴミの問題は国際間が連携して取り組まないと解決できない。そのためにも、こういう地道な活動が重要だと思えます」と話していました。

今回の作業には2日間で延べ452人が参加し、520立法^メ（4トントラック32台分）の漂着ゴミを回収しました。

特別養護老人ホームに時計のプレゼント

6月11日に「時の記念日」を記念して、対馬時計商組合（鍵本俊雄組合長）から、対馬市の2つの特別養護老人ホームに時計が贈られ、特別養護老人ホーム「浅茅の丘」で贈呈式がありました。同組合は、毎年、時の記念日に市内の福祉施設などに時計を贈っています。利用者を代表して時計を受け取った倉田寧子さん（90歳）は、「大事に使わせてもらいます」とお礼のあいさつをしました。



豆酩の赤米神田で田植え

6月3日、梅雨入りを前に市内各地で田植えを行う風景が見られるようになってきた中、^{あかごめ} 厳原町豆酩の赤米神田では、伝統にのっとり古代米である赤米の田植えが行われました。

同地区では稲の原生種である赤米を作り、その穀霊を神格としてまつる赤米神事が、^{とうなかつま} 頭仲間と呼ばれる集団によって今も伝えられています。

当日は、現在唯一の頭仲間となった主藤公敏さんが親戚の手をかり、約2畝（200㎡）の神田で田植えを行いました。10月中旬には3俵半から4俵の赤米が収穫できるそうです。



学校対抗で雞知中が連覇 第48回対馬市中学校体育大会 陸上競技大会

6月10、11日の2日間、峰運動公園陸上競技場で対馬市中学校体育大会陸上競技大会が開催されました。
大会には市内の中学校19校から687名(男子362名、女子325名)が出場して、男子21種目、女子17種目で熱戦が繰り広げられ、学校対抗では雞知中学校が2年連続の男女アベック優勝、総合優勝に輝きました。



【大会結果】

(1位のみ掲載 敬称略)

【男子】

《1年生》 1000m 阿比留龍希(雞知) 12秒7
1500m 早田太一(久田) 4分47秒9
4000m リレ 雞知(阿比留龍希、齋

藤峻、牧山拓矢、黒岩涼) 52秒9 《2年生》 1000m 濱崎航大(豊玉) 12秒1
1500m 松井佳太(雞知) 4分32秒7
4000m リレ 雞知(中村智晴、沖本敦人、黒岩西輔、松村承太郎) 49秒9 《3年生》 1000m 姉川和也(南陽) 12秒1
1500m 原野真維(加志々) 4分31秒7 《共通》 2000m 藤川周平(加志々) 25秒0
4000m 惣島祥吾(豊玉) 56秒2
8000m 小宮慶祐(雞知) 2分8秒5
30000m 松井佳太(雞知) 9分44秒0
110m 栗屋佳弘(雞知) 17秒3
4000m リレ 雞知(平山友樹、神宮健志、小宮慶祐、栗屋佳弘) 49秒1
走高跳 宮崎泰陽(大

船越) 1m60 棒高跳 國分博文(東部) 3m10 走幅跳 栗屋佳弘(雞知) 5m43
三段跳 小宮慶祐(雞知) 11m63 砲丸投 小島雄輝(東部) 10m77(新記録) 《低学年》 1000m 山川竜成(東部) 15秒8
4000m リレ 雞知(中村智晴、黒岩涼、阿比留龍希、松村承太郎) 50秒2

【女子】

《1年生》 1000m 阿比留瞳(久田) 14秒2
8000m 沖中遥(豊玉) 2分34秒5
4000m リレ 豊玉(沖中遥、山本彩乃、中嶋里穂、國分ひかり) 58秒4 《2年生》 1000m 財部愛里(比田勝) 13秒7
8000m 八坂瑞翔(雞知) 2分28秒0
4000m リレ 比田勝(武田眞子、築城史乃、辻香穂、財部愛里) 57秒1 《3年生》 1000m 木村千紘(南陽) 13秒3
8000m 木村眞子(比田勝) 2分27秒2 《共通》 2000m 木村千紘(南陽) 27秒8
1500m 八坂瑞翔(雞知) 5分4秒1
1000m 下川真歩(豊玉) 17秒2
4000m リレ 南陽(石橋知佳、太田愛海、角井愛理、木村千紘) 54秒6
走高跳 橘彩加(敵原) 1m25
走幅跳 神宮葵(今里) 4m44
砲丸投 中村万利香(仁田) 10m77 《低学年》 80m 部原美菜子(久原) 13秒4
4000m リレ 敵原(阿比留奈穂、原田貴菜、井川祐香、天野真歩) 56秒8

第32回美津島町 小学校体育大会



5月31日、鶏鳴小学校グラウンドで、美津島町小学校体育大会が開催されました。当日は天気に恵まれ、2種目で大会新記録が誕生するなど、とてもすばらしい

大会となりました。

【大会結果】

(1位のみ掲載 敬称略)

《1000m》 4年男子 岩見優(鶏鳴A) 15秒7
4年女子 瀬川菜月(大船越) 16秒9
5年男子 竹藤一哉(鶏鳴B) 15秒7
5年女子 中野祐里(鶏鳴B) 15秒9
6年男子 松村冬威(大船越) 14秒4
6年女子 犬束優(大船越) 15秒3 《50m》 5年男子 阿比留巧巳(鶏鳴A) 9秒3
5年女子 外林葉留奈(鶏鳴B) 10秒3
6年男子 黒岩誠亥(鶏鳴A) 8秒6
6年女子 犬束優(大船越) 関楓(大船越) 10秒2 《1000m》 4年男子 松村慶太(大船越) 3分38秒2(新) 5年男子 井上雄太(大船越) 3分39秒4
6年男子 松村冬威(大船越) 3分18秒8 《8000m》 4年女子 田口沙羅(鶏鳴A) 3分4秒8
5年女子 中野祐里(鶏鳴B) 2分57秒2
6年女子 松島奈央(大船越) 2分45秒2 《リレ》 4年生 鶏鳴B 1分34秒3
5年生 鶏鳴B 1分28秒1

ハスキーボイスで観客を魅了 桂 銀淑 歌謡ショー

6月2日、韓国出身の歌手桂 銀淑さんによる歌謡ショーが対馬市交流センターで開かれました。

コンサートは午後2時からと午後6時からの2回公演で行われました。

きらびやかな衣装に身を包んだ桂 銀淑さんは、独特のハスキーボイスで「すずめの涙」や「ベサメ・ムーチョ」などのヒット曲を熱唱し観客を魅了しました。また、歌以外でも楽しいトークでステージを盛り上げ、気さくに舞台から話しかけるなどして、観客を楽しませていました。

また会場では歌謡ショーを前に、市民コーラスの4グループ（コーラスD、対馬高校コーラス部、ありあけエコー、コールみつしま）がステージに立ち、息のあった合唱を披露して客席から盛大な拍手が送られていました。



桂 銀淑さん



対馬高校コーラス部

囲碁の高校生長崎県大会で3連覇達成 俵 友祐希くん（対馬高校3年生）



市長から祝福をうける俵友祐希くんと
美津島町碁友会最年少の武末剛慶くん

5月20日に開催された第31回全国高校囲碁選手権大会の長崎県大会男子個人戦で美津島町碁友会（吉野満夫会長）の俵友祐希くん（美津島町雑知）が見事3連覇を達成。7月に東京で開かれる全国高等学校選手権と8月に島根で開催される全国高等学校総合文化祭に県代表として出場します。

昨年の全国大会では、予選落ちと7位という成績だったそうで「今年こそ優勝できるよう頑張ります」と力強く話していました。高校生として最後の大会となる今年、ぜひ目標を達成してください。

また、同碁友会最年少の武末剛慶くん（厳原小4年）は、筋がよく吉野会長に「俵くんが続く逸材」と期待されています。「将来は囲碁の先生になりたい」というほど囲碁好きだそうで、今後の活躍が期待されます。

日本に漢文を伝えた 百済国王仁博士の顕彰碑建立

3世紀、日本の招きにより千字文1巻と論語10巻を携えて来日し、漢文と学術を伝えたと言われる百済国の王仁博士の功績をたたえる顕彰碑が上対馬町鰐浦に建立され、5月27日、除幕式が行われました。

同地は、王仁博士が最初に到着した日本と考えられ、博士をこの歴史的な地点で顕彰しようと、日韓両国の有識者らでつくる対馬韓国先賢顕彰会が建立したものです。

顕彰碑は高さ約3.8m（台座含む）で、厳原町内山で採取された石が使用されています。

除幕式には、日韓両国の関係者約60名が参加し完成を祝いました。



顕彰碑の除幕を行う日韓の関係者

千字文 = 中国の習字手本及び初学教科書
論語 = 孔子の書とされる儒教の経典